

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	自殺対策事業			事業コード	420318						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	3 ころの健康づくり					
	施策名	1 多世代にわたる精神的不調の予防と早期発見			施策コード	531					
事業担当	所属	15020000 福祉保健部 社会福祉課			所属長	大西 孝治					
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 社会福祉支援費	会計	01 一般会計	決算付属資料	112	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市自殺対策計画			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	自殺対策基本法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	生活困窮者自立支援事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市における自殺者数の現状や特性の分析を踏まえ、本市における年間自殺者数がゼロとなることを目指し、自殺対策に関する施策を推進する。										
対象者	市民			対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK										
事業概要 (箇条書き)	【普及啓発の取組】 ・お城のグリーンライトアップ ・自殺対策強化月間(3月)における懸垂幕の掲出、図書館PR展示 ・「いのち支える」リーフレット作成及び市広報誌(3月)への掲載 ・自殺予防週間(9/10~9/16)における懸垂幕の掲出										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	旅費	33		普通旅費							
	需用費	249		自殺予防週間及び自殺対策強化月間に伴うリーフレット作成及び啓発物品等							
	委託料	106		福知山城グリーンライトアップ業務委託料							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	578	620	1,106	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	578	620	1,106						
予算財源内訳	① 一般財源	298	328	606					
	② 国支出金	280	292	500					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	578	620						
	③ 執行額	416	388						
	④ 執行率	72.0%	62.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.58 / 0.00	0.78 / 0.00	0.78 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,640	6,240	6,240	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,056	6,628	6,240	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自殺対策事業		種類	民生費国庫補助金	実績金額	175	18	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間自殺者数	人	10 / 0	16 / 0	22 / 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	自殺対策研修会	回	2 / 2	1 / 2	0 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		306.5	416.0			
	自殺対策研修会参加者数	人	127 / 40	223 / 40	0 / 40	/ 40	200
単位あたりコスト		4.8	1.9				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	自殺を個人の問題ではなく、社会全体の問題としてとらえ、地域の実情に応じた取組や相談窓口の周知の徹底、相談支援体制の構築が求められており、福知山市自殺対策計画に基づき、自殺者ゼロを目指した施策を推進していくうえで、必要性の高い事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	地域自殺対策強化交付金(国庫補助金)を活用し、適正かつ効率的に事務を執行した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自殺対策研修会を開催することができなかった。厚生労働省の「地域における自殺の基礎資料」に基づき、本市の自殺者数(令和3年度22名)を把握しており、コロナ禍においても、相談窓口の周知徹底と関係機関との連携を図りながら、自殺者数ゼロを目指していく。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>コロナ禍において、福知山市自殺対策計画に基づき普及啓発等の施策を推進し、「お城のグリーンライトアップ」「自殺予防週間における懸垂幕の掲出」「自殺対策強化月間における懸垂幕の掲出、図書館PR展示」などの取組を実施することができた。なお、自殺対策協議会は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面決議とした。</p> <p>本市の年間自殺者数については、厚生労働省の「地域における自殺の基礎資料」から把握した情報を市町村ごとに公表しており、この数値を活用して評価を行っている。今後においても、本市における自殺者数の現状や特性の分析を踏まえ、自殺対策の施策の実施を強化していくことが課題である。</p>		
改善策	<p>福知山市自殺対策計画に基づき、自殺者ゼロを目指した自殺予防のための施策の推進を着実にを行い、相談窓口の周知の徹底と自殺対策協議会の構成団体である関係機関等と連携を図りつつ、適切に評価・分析を行い、進捗状況を確認していく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--